



# アラート通知を管理する

## StorageGRID software

NetApp  
December 03, 2025

# 目次

アラート通知を管理する .....	1
アラート用のSNMP通知を設定する .....	1
アラートのメール通知を設定する .....	1
アラートメール通知に含まれる情報 .....	4
アラートのグループ化方法 .....	5
アラートメール通知のトラブルシューティング .....	6
サイレントアラート通知 .....	7

# アラート通知を管理する

## アラート用のSNMP通知を設定する

アラートが発生したときにStorageGRID がSNMP 通知を送信するには、StorageGRID SNMP エージェントを有効にし、1 つ以上のトラップ送信先を設定する必要があります。

グリッド マネージャの **CONFIGURATION > Monitoring > SNMP agent** オプションまたはグリッド管理 API の SNMP エンドポイントを使用して、StorageGRID SNMP エージェントを有効にして構成できます。SNMP エージェントは、SNMP プロトコルの 3 つのバージョンすべてをサポートします。

SNMP エージェントの設定方法については、"[SNMP監視を使用する](#)"。

StorageGRID SNMP エージェントを構成すると、次の 2 種類のイベント駆動型通知を送信できるようになります。

- **トラップ**は、管理システムによる確認を必要としない、SNMP エージェントによって送信される通知です。トラップは、アラートがトリガーされるなど、StorageGRID 内で何かが発生したことを管理システムに通知するために使用されます。トラップは、SNMP の 3 つのバージョンすべてでサポートされています。
- **インフォーム**はトラップに似ていますが、管理システムによる確認が必要です。SNMP エージェントが一定時間内に確認応答を受信しない場合、確認応答を受信するか最大再試行値に達するまで、通知を再送信します。インフォームは、SNMPv2c および SNMPv3 でサポートされています。

デフォルトまたはカスタムアラートが任意の重大度レベルでトリガーされると、トラップ通知とインフォーム通知が送信されます。アラートの SNMP 通知を抑制するには、アラートのサイレンスを設定する必要があります。見る"[サイレントアラート通知](#)"。

StorageGRID の展開に複数の管理ノードが含まれている場合、プライマリ管理ノードがアラート通知、AutoSupport パッケージ、SNMP トラップおよびインフォームの優先送信元になります。プライマリ管理ノードが利用できなくなった場合、通知は他の管理ノードによって一時的に送信されます。見る"[管理ノードとは何ですか?](#)"。

## アラートのメール通知を設定する

アラートが発生したときに電子メール通知を送信する場合は、SMTP サーバーに関する情報を提供する必要があります。アラート通知の受信者の電子メール アドレスも入力する必要があります。

開始する前に

- グリッドマネージャにサインインするには、"[サポートされているウェブブラウザ](#)"。
- あなたは"[アラートまたはルートアクセス権限を管理する](#)"。

タスク概要

アラート通知に使用される電子メール設定は、AutoSupport パッケージでは使用されません。ただし、すべての通知に同じ電子メール サーバーを使用することができます。

StorageGRID の展開に複数の管理ノードが含まれている場合、プライマリ管理ノードがアラート通知、AutoSupportパッケージ、SNMP トラップおよびインフォームの優先送信元になります。プライマリ管理ノードが利用できなくなった場合、通知は他の管理ノードによって一時的に送信されます。見る"[管理ノードとは何ですか?](#)"。

#### 手順

1. アラート > \*電子メール設定\*を選択します。

電子メール設定ページが表示されます。

2. アラートが設定されたしきい値に達したときに通知メールを送信するように指定するには、[電子メール通知を有効にする] チェックボックスをオンにします。

電子メール (SMTP) サーバー、トランスポート層セキュリティ (TLS)、電子メール アドレス、およびフィルターのセクションが表示されます。

3. [電子メール (SMTP) サーバー] セクションで、StorageGRID がSMTP サーバーにアクセスするために必要な情報を入力します。

SMTP サーバーで認証が必要な場合は、ユーザー名とパスワードの両方を入力する必要があります。

フィールド	入力
メール サーバ	SMTPサーバの完全修飾ドメイン名 (FQDN) またはIPアドレス。
ポート	SMTP サーバーにアクセスするために使用されるポート。1 ~ 65535 の範囲で指定する必要があります。
ユーザー名 (オプション)	SMTP サーバーで認証が必要な場合は、認証に使用するユーザー名を入力します。
パスワード (オプション)	SMTP サーバーで認証が必要な場合は、認証に使用するパスワードを入力します。

4. [電子メール アドレス] セクションで、送信者と各受信者の電子メール アドレスを入力します。
  - a. 送信者メール アドレス には、アラート通知の送信元アドレスとして使用する有効なメール アドレスを指定します。

例: storagegrid-alerts@example.com
  - b. [受信者] セクションで、アラートが発生したときに電子メールを受信する必要がある各電子メール リストまたはユーザーの電子メール アドレスを入力します。

プラスアイコンを選択 **+** 受信者を追加します。
5. SMTP サーバーとの通信にトランスポート層セキュリティ (TLS) が必要な場合は、トランスポート層セキュリティ (TLS) セクションで **TLS** が必要 を選択します。
  - a. **CA** 証明書 フィールドに、SMTP サーバーの ID を確認するために使用される CA 証明書を入力します。

このフィールドに内容をコピーして貼り付けるか、「参照」を選択してファイルを選択することもできます。

各中間発行証明機関 (CA) からの証明書が含まれる単一のファイルを提供する必要があります。このファイルには、PEM でエンコードされた各 CA 証明書ファイルが、証明書チェーンの順序で連結されて含まれている必要があります。

- b. SMTP 電子メール サーバーで電子メールの送信者に認証用のクライアント証明書の提供を要求する場合は、[クライアント証明書の送信] チェックボックスをオンにします。
- c. クライアント証明書 フィールドに、SMTP サーバーに送信する PEM エンコードされたクライアント証明書を入力します。

このフィールドに内容をコピーして貼り付けるか、「参照」を選択してファイルを選択することもできます。

- d. 秘密鍵 フィールドに、暗号化されていない PEM エンコードでクライアント証明書の秘密鍵を入力します。

このフィールドに内容をコピーして貼り付けるか、「参照」を選択してファイルを選択することもできます。



メール設定を編集する必要がある場合は、鉛筆アイコンを選択してください  このフィールドを更新します。

- 6. [フィルター] セクションで、特定のアラートのルールが無効にされていない限り、電子メール通知を生成するアラート重大度レベルを選択します。

重大度	説明
軽微、重大、重大	アラート ルールのマイナー、メジャー、またはクリティカル条件が満たされると、電子メール通知が送信されます。
重大、重篤	アラート ルールの主要な条件または重大な条件が満たされると、電子メール通知が送信されます。軽微なアラートについては通知は送信されません。
クリティカルのみ	アラート ルールの重大な条件が満たされた場合にのみ、電子メール通知が送信されます。マイナーアラートまたはメジャーアラートの場合、通知は送信されません。

- 7. 電子メール設定をテストする準備ができれば、次の手順を実行します。

- a. \*テストメールを送信\*を選択します。

テストメールが送信されたことを示す確認メッセージが表示されます。

- b. すべてのメール受信者の受信トレイを確認し、テストメールが受信されたことを確認します。



数分以内にメールが届かない場合、または\*メール通知失敗\*アラートがトリガーされた場合は、設定を確認して再試行してください。

c. 他の管理ノードにSign in、テストメールを送信して、すべてのサイトからの接続を確認します。



アラート通知をテストするときは、すべての管理ノードにサインインして接続を確認する必要があります。これは、すべての管理ノードがテストメールを送信するAutoSupportパッケージのテストとは対照的です。

8. \*保存\*を選択します。

テストメールを送信しても設定は保存されません。\*保存\*を選択する必要があります。

メール設定が保存されました。

## アラートメール通知に含まれる情報

SMTP 電子メール サーバーを構成すると、アラート ルールがサイレンスによって抑制されていない限り、アラートがトリガーされたときに、指定された受信者に電子メール通知が送信されます。見る"[サイレントアラート通知](#)"。

電子メール通知には次の情報が含まれます。

### NetApp StorageGRID

#### Low object data storage (6 alerts) 1

The space available for storing object data is low. 2

#### Recommended actions 3

Perform an expansion procedure. You can add storage volumes (LUNs) to existing Storage Nodes, or you can add new Storage Nodes. See the instructions for expanding a StorageGRID system.

DC1-S1-226

<b>Node</b>	DC1-S1-226 <span>4</span>
<b>Site</b>	DC1 225-230
<b>Severity</b>	Minor
<b>Time triggered</b>	Fri Jun 28 14:43:27 UTC 2019
<b>Job</b>	storagegrid
<b>Service</b>	ldr

DC1-S2-227

<b>Node</b>	DC1-S2-227
<b>Site</b>	DC1 225-230
<b>Severity</b>	Minor
<b>Time triggered</b>	Fri Jun 28 14:43:27 UTC 2019
<b>Job</b>	storagegrid
<b>Service</b>	ldr

Sent from: DC1-ADM1-225 5

番号	説明
1	アラートの名前と、その後にこのアラートのアクティブなインスタンスの数が表示されます。
2	アラートの説明。
3	アラートに対する推奨アクション。
4	アラートの各アクティブ インスタンスに関する詳細 (影響を受けるノードとサイト、アラートの重大度、アラート ルールがトリガーされた UTC 時間、影響を受けるジョブとサービスの名前など)。
5	通知を送信した管理ノードのホスト名。

## アラートのグループ化方法

アラートがトリガーされたときに過剰な数の電子メール通知が送信されるのを防ぐために、StorageGRID は複数のアラートを同じ通知にグループ化しようとします。

StorageGRID が電子メール通知で複数のアラートをグループ化する方法の例については、次の表を参照してください。

動作	例
各アラート通知は、同じ名前を持つアラートにのみ適用されます。異なる名前の 2 つのアラートが同時にトリガーされた場合、2 つの電子メール通知が送信されます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>アラート A は 2 つのノードで同時にトリガーされます。通知は 1 つだけ送信されます。</li> <li>アラート A はノード 1 でトリガーされ、同時にアラート B はノード 2 でトリガーされます。アラートごとに 1 つずつ、合計 2 つの通知が送信されます。</li> </ul>
特定のノード上の特定のアラートについては、複数の重大度のしきい値に達した場合、最も重大度の高いアラートに対してのみ通知が送信されます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>アラート A がトリガーされ、マイナー、メジャー、およびクリティカルのアラートしきい値に達しました。重大なアラートに対して 1 つの通知が送信されます。</li> </ul>
初めてアラートがトリガーされると、StorageGRID は通知を送信する前に 2 分間待機します。その間に同じ名前の他のアラートがトリガーされた場合、StorageGRID はすべてのアラートを初期通知にグループ化します。	<ol style="list-style-type: none"> <li>アラート A は 08:00 にノード 1 でトリガーされます。通知は送信されません。</li> <li>アラート A は 08:01 にノード 2 でトリガーされます。通知は送信されません。</li> <li>08:02 に、アラートの両方のインスタンスを報告する通知が送信されます。</li> </ol>

動作	例
<p>同じ名前の別のアラートがトリガーされた場合、StorageGRID は新しい通知を送信する前に 10 分間待機します。新しい通知では、以前に報告されたものも含め、すべてのアクティブなアラート (現在消音されていないアラート) が報告されます。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>アラート A は 08:00 にノード 1 でトリガーされます。08:02 に通知が送信されます。</li> <li>アラート A は 08:05 にノード 2 でトリガーされます。2 回目の通知は 08:15 (10 分後) に送信されます。両方のノードが報告されます。</li> </ol>
<p>現在、同じ名前のアラートが複数存在し、そのうちの 1 つが解決された場合、アラートが解決されたノードでアラートが再発しても、新しい通知は送信されません。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>アラート A はノード 1 に対してトリガーされず。通知が送信されます。</li> <li>アラート A はノード 2 に対してトリガーされず。2 番目の通知が送信されます。</li> <li>アラート A はノード 2 では解決されていますが、ノード 1 ではアクティブなままです。</li> <li>アラート A がノード 2 に対して再度トリガーされます。ノード 1 のアラートはまだアクティブであるため、新しい通知は送信されません。</li> </ol>
<p>StorageGRID は、アラートのすべてのインスタンスが解決されるか、アラート ルールが無効になるまで、7 日ごとに電子メール通知を送信し続けます。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>アラート A は 3 月 8 日にノード 1 に対してトリガーされます。通知が送信されます。</li> <li>アラート A は解決または消音されません。追加の通知は、3 月 15 日、3 月 22 日、3 月 29 日などに送信されます。</li> </ol>

## アラートメール通知のトラブルシューティング

\*電子メール通知失敗\*アラートがトリガーされた場合、またはテストアラート電子メール通知を受信できない場合は、次の手順に従って問題を解決してください。

開始する前に

- グリッドマネージャにサインインするには、"[サポートされているウェブブラウザ](#)"。
- あなたは"[アラートまたはルートアクセス権限を管理する](#)"。

手順

- 設定を確認してください。
  - アラート > \*電子メール設定\*を選択します。
  - 電子メール (SMTP) サーバー設定が正しいことを確認します。
  - 受信者に有効な電子メール アドレスを指定したことを確認します。
- スパムフィルターをチェックして、メールが迷惑メールフォルダに送信されていないことを確認してください。
- 送信者アドレスからのメールがブロックされていないことをメール管理者に確認してもらってください。
- 管理ノードのログ ファイルを収集し、テクニカル サポートに問い合わせてください。

テクニカル サポートでは、ログの情報を使用して、何が問題であったかを特定できます。たとえば、指定

したサーバーに接続すると、prometheus.log ファイルにエラーが表示される場合があります。

見る["ログファイルとシステムデータを収集する"](#)。

## サイレントアラート通知

必要に応じて、アラート通知を一時的に抑制するサイレンスを構成することもできます。

開始する前に

- グリッドマネージャにサインインするには、["サポートされているウェブブラウザ"](#)。
- あなたは["アラートまたはルートアクセス権限を管理する"](#)。

タスク概要

グリッド全体、単一のサイト、または単一のノードで、1つ以上の重大度に対してアラート ルールを無音にすることができます。各サイレンスは、単一のアラート ルールまたはすべてのアラート ルールのすべての通知を抑制します。

SNMP エージェントを有効にしている場合、サイレンスは SNMP トラップとインフォームも抑制します。



アラート ルールを無音にする場合は注意してください。アラートを無音にすると、重要な操作が完了できなくなるまで、根本的な問題を検出できない可能性があります。

手順

1. アラート > \*サイレンス\* を選択します。

「サイレンス」ページが表示されます。

Silences

You can configure silences to temporarily suppress alert notifications. Each silence suppresses the notifications for an alert rule at one or more severities. You can suppress an alert rule on the entire grid, a single site, or a single node.

Alert Rule	Description	Severity	Time Remaining	Nodes
No results found.				

2. \*作成\* を選択します。

「無音の作成」ダイアログ ボックスが表示されます。

## Create Silence

Alert Rule	<input type="text"/>
Description (optional)	<input type="text"/>
Duration	<input type="text"/> <input type="text" value="Minutes"/>
Severity	<input type="radio"/> Minor only <input type="radio"/> Minor, major <input type="radio"/> Minor, major, critical
Nodes	<input type="radio"/> StorageGRID Deployment <input type="radio"/> Data Center 1 <input type="radio"/> DC1-ADM1 <input type="radio"/> DC1-G1 <input type="radio"/> DC1-S1 <input type="radio"/> DC1-S2 <input type="radio"/> DC1-S3

3. 次の情報を選択または入力します。

フィールド	説明
アラートルール	サイレントにするアラート ルールの名前。アラート ルールが無効になっている場合でも、デフォルトまたはカスタムのアラート ルールを選択できます。  注: このダイアログ ボックスで指定された条件を使用してすべてのアラートルールを無音にする場合は、[すべてのルール] を選択します。
説明	オプションで、沈黙の説明。たとえば、この沈黙の目的を説明してください。
間隔	この沈黙を有効にする期間（分、時間、または日数）を指定します。沈黙は 5 分から 1,825 日 (5 年) まで有効になります。  注意: アラート ルールを長時間にわたって無音にしないでください。アラートルールが無効になっている場合、重要な操作の完了が妨げられるまで、根本的な問題を検出できない可能性があります。ただし、サービス アプライアンス リンク ダウン アラートやストレージ アプライアンス リンク ダウン アラートの場合のように、特定の意図的な構成によってアラートがトリガーされる場合は、拡張サイレンスを使用する必要があることがあります。
重大度	どのアラート重大度をサイレントにするか。選択した重大度のいずれかでアラートがトリガーされた場合、通知は送信されません。

フィールド	説明
ノード	<p>この無音を適用するノード。グリッド全体、単一のサイト、または単一のノード上のアラート ルールまたはすべてのルールを抑制できます。グリッド全体を選択すると、すべてのサイトとすべてのノードに無音が適用されます。サイトを選択した場合、サイレンスはそのサイトのノードにのみ適用されません。</p> <p>注意: 各サイレンスに対して複数のノードまたは複数のサイトを選択することはできません。一度に複数のノードまたは複数のサイトで同じアラート ルールを抑制する場合は、追加のサイレンスを作成する必要があります。</p>

4. \*保存\*を選択します。
5. 有効期限が切れる前にサイレンスを変更または終了したい場合は、編集または削除できます。

オプション	説明
無音部分を編集する	<ol style="list-style-type: none"> <li>a. アラート &gt; *サイレンス*を選択します。</li> <li>b. 表から、編集する無音部分のラジオ ボタンを選択します。</li> <li>c. *編集*を選択します。</li> <li>d. 説明、残り時間、選択した重大度、または影響を受けるノードを変更します。</li> <li>e. *保存*を選択します。</li> </ol>
無音部分を削除する	<ol style="list-style-type: none"> <li>a. アラート &gt; *サイレンス*を選択します。</li> <li>b. 表から、削除する無音部分のラジオ ボタンを選択します。</li> <li>c. *削除*を選択します。</li> <li>d. この無音部分を削除することを確認するには、[OK] を選択します。</li> </ol> <p>注: このアラートがトリガーされると、通知が送信されるようになりました (別のサイレンスによって抑制されない限り)。このアラートが現在トリガーされている場合、電子メールまたは SNMP 通知が送信され、アラート ページが更新されるまでに数分かかることがあります。</p>

#### 関連情報

["SNMPエージェントを構成する"](#)

## 著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

## 商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。